

# 令和5年度第3回常磐公園の緑を考える集い 開催結果

日時 : 令和5年10月24日(火) 10:00～11:30  
会場 : 常磐公園  
出席者 : 市内在住の市民 8名  
旭川市土木部公園みどり課 3名  
旭川市公園緑地協会 1名

## I 開催内容

- 1 開会
- 2 自然更新ゾーン実生の移植
- 3 日本庭園ゾーンの改良(伐採)
- 4 樹齢の推定作業
- 5 閉会

## II 開催結果

別紙報告書のとおり

## 令和5年度第3回常磐公園の緑を考える集い 報告書

### ○昨年移植した実生について

集いの活動が始める前に昨年移植した実生、こはるの状況について報告を致しました。前回の集いの際に葉が枯れていたこはるについてですが、現在の生育状況を確認したところ、枝・幹も完全に枯れてしまいました。先日、樹木医の方に常磐公園の樹木を診断していただいたついでにこはるが枯れた原因について伺ったところ、恐らく日当たりが悪いのが原因ではないかとのことでした。移植した際には日当たりは良いと思っておりましたが、周辺に大木もあったため、時期や時間帯によっては日当たりが悪かったのかもしれない。

とても残念な気持ちですが、今回の反省を活かして今後移植を行う前には日照状況等問題がないか十分に確認をした上で、移植作業を行うようにしたいと思います。

こはるについてはもう少しだけ様子を見守って、復活が全く見込めなければ、後日公園緑地協会にて撤去作業を行いたいと思います。



枯損した実生

### 1. 自然更新ゾーン実生の移植

現在自然更新ゾーンにある実生4本の内1本(イタヤカエデ)を移植致しました。

移植場所はテニスコート近くの日当たりが良い場所に移植いたしました。(位置図参照)小さい実生で掘取り作業も簡単だったため、作業自体は10分程度で終わりました。

自然更新ゾーンにある残りの大きい実生3本については次年度以降に工事で移植作業を行う予定です。移植した実生については今後も集いの中で様子を見守って行きたいと思います。

また、自然更新ゾーンに最近新たに生えたと思われる小さい実生が確認できました。今後この実生も成長し、いずれ大きくなれば移植等検討していきたいと思います。



実生掘取り作業



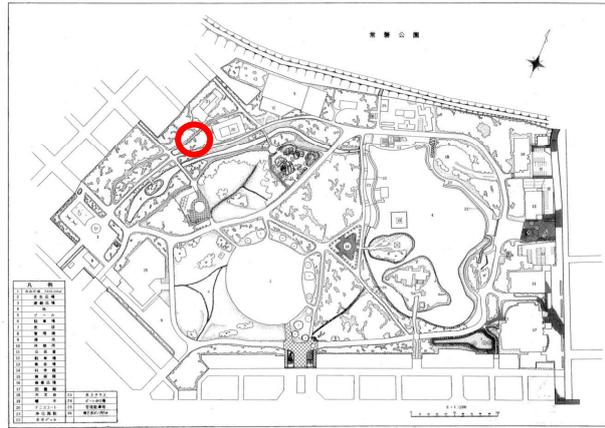
植え込み作業



移植完了



新たに生えた実生



○ 実生の移植位置図

## 2. 日本庭園ゾーンの改良(伐採)

日本庭園ゾーン周辺を囲っているマツの間引き作業を行いました。

隣の樹木に抑圧され幹が細くなっているマツを間引く対象とし、テープで目印を付けた後に、皆さんで伐採作業を行いました。間引いたことにより鬱蒼とした雰囲気が少し改善されました。

今後も日本庭園ゾーンについては集いの中で見守って行きたいと思います。また、日本庭園ゾーンの魅力向上につながるような改善案等あれば気軽に御意見ください。



マツの間引き作業



間引き作業前



間引き作業後

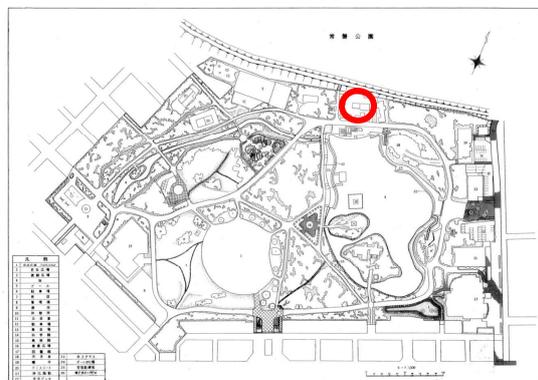
## 3. 樹齢の推定作業

緩傾斜化区域の園路傍にある切り株の樹齢推定作業を行いました。

結果については別紙年輪グラフを御覧下さい。



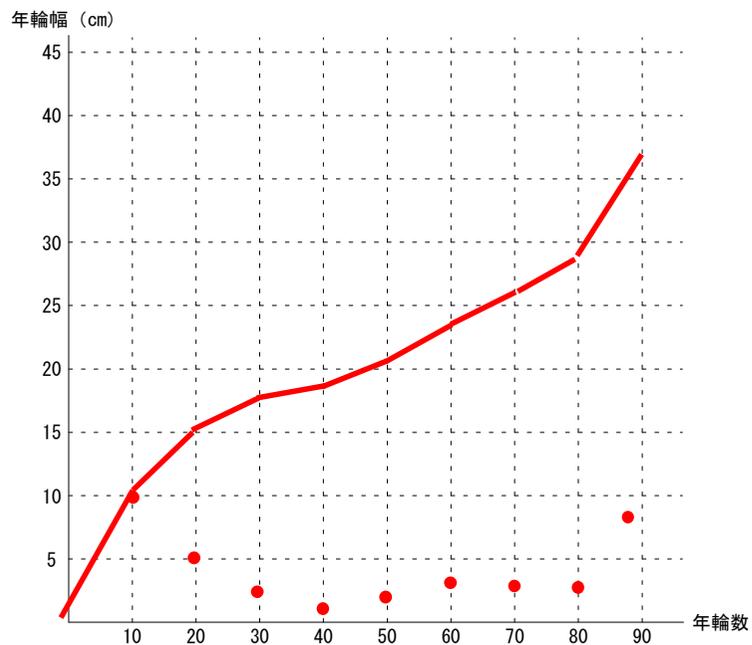
樹齢推定した切り株



○ 切り株位置図

単位：mm

場所	樹種名	周辺環境	切株の高さ	切株の直径	10年輪毎の幅									備考
					10	20	30	40	50	60	70	80	87	
緩傾斜化区域の園路傍	ヨーロッパアカマツ	法面の芝地に自生 園路側に傾斜	600	560	100	50	25	10	20	30	25	25	80	



遠景



近景

今回の調査では、2年前に園路に幹が傾斜し、かつ枯損していたため、危険木として伐採された樹木の切株を調査しました。高さ約60cm、幹直径約56cmの切株です。

年輪は多少不明瞭でしたが、計測できた年輪の数は約88でしたので、およそ90年程育生していた樹木と思われます。

10年ごとの年輪の幅は10年毎にバラバラでしたが、これはその時期の気候等が影響しているのではないかとのことでした。